

鳥取大学

# 产学・地域 連携推進 たより



- 研究推進に関する事業報告
- 地域貢献・生涯学習に関する事業報告
- 知的財産管理運用に関する事業報告

2017  
夏号

## 研究推進に関する事業

### 1. はりま産学交流会 5月創造例会【5月19日(金) 開催:姫路商工会議所】



「はりま産学交流会」の「5月創造例会」が約80名の参加のもと開催されました。同交流会は、はりま地区の企業と関西地区の大学の産学交流の場となるものです。5月度例会では、鳥取大学から農学部共同獣医学科岡本教授より「ペット医療はこれからバイオテクノロジーを刺激する」、大学院連合農学研究科児玉教授より「未発掘地域資源の活用に向けてー梨ポリフェノールと天然酵母」の2テーマの発表を行いました。岡本教授からは、医療機器、医薬品の効果検証に動物を用いる手法について、また児玉教授からは二十世紀梨に含まれるポリフェノール等の成分分析、鳥取に自生する酵母の活用についての講演がありました。両発表とも他の大学にはない研究であり、企業や大学関係者と活発な議論が交わされました。

## 地域貢献・生涯学習に関する事業報告

### 1. サイエンス・アカデミー「コンピュータの可能性」開講

#### 【5月13日(土)：鳥取県立図書館】



本学では地域住民の皆様を対象に、本学の教員が行っている研究や日頃疑問に思っていることなど中心に、自然科学、技術、環境、地域社会に関する今日的問題等についてテーマ毎に紹介する「サイエンス・アカデミー」を毎月第2・第4土曜日に開催しています。

5~7月は「コンピュータの可能性」と題して、コンピュータの仕組みや歴史とともにコンピュータが今後どのように使われていくのか、私たちがどのように関わっていくのかについていくつかの分野を例に紹介する

全6回シリーズです。シリーズ全6回開催し、合計で350人超の参加者があるなど盛況となりました。

### 2. 平成29年度ものづくり協力会議 総会・懇親会

#### 【4月14日(金)：鳥取大学広報センター、鳥取大学医学部アレスコ棟】

総会には、役員・会員40人が参加しました。本学の法橋誠理事の挨拶の後、本協力

会議会長・地域学部 土井康作教授から 28 年度事業報告・事業外部評価・収支決算報告、今年度の事業計画案・予算案の説明があり、全会一致で承認されました。

### 3. 平成 29 年度第 1 回産学・地域連携推進室連絡会及び西部連絡会

【4 月 11 日（火）：鳥取大学産学・地域連携推進機構、5 月 25 日（木）：鳥取大学医学部アレスコ棟】

県内機関の産学官連携を深めるため、産学・地域連携推進室連絡会を原則毎月 1 回第 2 火曜日に開催しています。今年度第 1 回目は、32 人出席いただき、産学・地域連携推進機構の奥村コーディネーターが、機構及び連絡会の役割、組織体制等について説明しました。各機関からの報告の後、「大学発・産学連携ファンドによる取り組み」について、山陰合同銀行の宮本立史様に報告いただきました。

また、西部地区では昨年度と同様、奇数月の第 3 木曜日に医学部内の会場で連絡会を開催しています。今年度第 1 回目の連絡会では 21 人の出席のもと、冒頭に連絡会の目的・概要及び担当者確認と紹介を行い、その後に各機関の取り組みについてご報告いただきました。続いて大山町役場企画情報課の金田啓介氏より大山町の産学官連携事業の事例紹介を行っていただきました。

### 4. 鳥取銀行寄附講座「マーケティング論」開講 4 月 15 日（金）：鳥取大学共通教育棟】



本講座は講師に岡山理科大学の山口教授をお招きし、企業におけるマーケティングを如何に発想するかを論理的に考え、豊かなマーケティング発想力を育成することを目的としています。

今年度は 46 人の受講生が熱心に講義を受けており、ゲスト講師として実際の経営者の方にも登壇いただいています。また、4 月 28

日には鳥取銀行の平井耕司頭取にご講演いただき、銀行業務の解説から鳥取銀行の経営理念とそれを実現させるための施策、地方創生として起業・創業支援や移住・定住促進に取り組んでいること、学生に期待すること等について、ご自身の経験を踏まえた臨場感溢れるお話をしていただきました。

### 5. 「とっとり暮らし早期体験学習」開講 【4 月 13 日（水）：湖山キャンパスほか】

文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」（平成 25～29 年度）では、地域を知り、地域の課題解決に向けて実践する学びをとおして「地域に対して好奇心を

持ち活力と実践力ある人材」を養成するため、教育プログラムを充実させています。



この科目は、一昨年度「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」として、本学と連携協定を締結している日南町、大山町、琴浦町、南部町をフィールドに、各町の特色ある自然や産業についての教養を身につけるとともに、地域を学ぶ動機付けを行うことを目的として開設したものです。昨年度は名称を変更し、平成 28 年 3 月に連携協定を締結した智頭町を含めた 5 町をフィールドとしました。学生（10 人受講）は、実際に現場で体感した課題についてグループを通して問題意識を共有します。

5 町の職員から各町について講義をいただいた後、山郷地区振興協議会の地域資源活用の取り組み（4/15、智頭町）、山間地での田植え体験（5/13、日南町）、大山寺周辺の観光の課題視察（6/1、大山町）、鳴り石の浜と大山乳業訪問（6/10、琴浦町）、法勝寺地域振興協議会の活動体験（6/17、南部町）を行い、地域の方々と交流しました。6 月 28 日には報告会で課題に対する改善案を提案しました。

## 6. 平成 29 年日野川の源流と流域を守る会第 1 回幹事会

【4 月 20 日（水）：日野振興センター】

今年度第 1 回目の幹事会では、幹事長のご挨拶のち、今年度予定している行事開催日程と行事内容などや、幹事が協力すること等について確認を行いました。

なかでも、今年度新規に企画されている日野川ラフティング＆自然観察会をはじめ、森林整備体験交流会、日野川写真塾＆境漁港水揚げ見学、日野川一斎清掃への参加、日野川源流探訪、外来植物除去活動＆わくわく自然体験などの行事や、さらに日野川流域憲章記念事業として、「日野川流域の恵みと魅力を次世代に引き継ごう」をテーマに日野川写真コンテストを行い、過去の入賞作品を展示するフォトコンテスト写真展の随時開催の実施に向けて意見交換を行いました。また、森と水に親しむ活動支援事業などの実施や幹事会運営についても意見交換を重ねました。

## 7. 第 14 回文化芸術の夕べ 【5 月 29 日（月）：鳥取大学広報センター スペース C】

本学と鳥取県及び地域の文化活動に熱心に取り組んでいる機関が連携を促進することを目的として、「第 14 回文化芸術の夕べ」（主催：地域学部附属芸術文化センター）が開催されました。情報交換会で各機関が活動紹介を行った後、交流会では、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換を行いました。

## 8. 第 21 回因幡の手づくりまつり 【6 月 25 日（日）：鳥取市文化センター】

ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的とした「第 21 回因幡の手づくりま

つり」を開催しました。(鳥取大、鳥取環境大、鳥取看護大、鳥取短期大、智頭街道商店街振興組合などが共同で開催)学生や地元の職人、大学教員OBなど約200人が講師・スタッフとして参加。小型扇風機や万華鏡など、手づくり体験ができる37ブースが並び、約1,500人の親子連れでにぎわいました。子どもたちに地域の伝承遊びやものづくりを体験してもらおうと1997年に始まった手づくりまつりも、今回で最後の開催となり昨年までの参加者は延べ1万8千人を数えました。

## 9. 平成29年度鳥取大学振興協力会役員会及び総会

【7月24日(月)：ホテルニューオータニ鳥取】



会員83人に参加いただいた今年度の会員総会では、昨年度の事業報告と今年度の事業計画等が承認されました。羽馬好幸会長(気高電機(株)代表取締役社長)からは、協力会は会員皆様のご協力いただき今年も新しいことに挑戦していきたい旨挨拶がありました。

講演会では、みそや豆乳、飲料等のメーカーであるマルサンアイ(株)の100%出資会社のマルサンアイ鳥取(株)から、代表取締役社長 兼子明様を講師に招き、同社及びマルサンアイ(株)の会社概要や基本姿勢、今年6月から本格的な稼働を開始した鳥取工場についてご紹介をいただきました。その後、本学工学研究科 西田信一郎教授が自身の研究内容について紹介し、最後は交流会により会員同士の交流を深めました。

## 10. 平成29年度第1回日南町・鳥取大学連携事業連絡会

【7月13日(木)：鳥取大学鳥取キャンパス共通教育棟第一会議室】

今年度第1回目の鳥取大学・日南町連携事業WG会議を鳥取大学鳥取キャンパスにて開催し、大学教員、県職員、日南町職員総勢23名の出席がありました。今年度から新座長となりました農学部片野准教授から「10年以上続く鳥大・日南町のWG会議の座長に任命されたことは大変嬉しく思うと共に、今後の連携をより良くしていくために尽力していきたい」と挨拶がありました。会では今年度事業計画の報告、意見交換等が行われました。今年度第2回目のWG会議(中間報告、来年度新規事業提案)は11月下旬に開催予定です。

## 知的財産管理運用に関する事業

### 1. さんさんコンソ主催「知財教育セミナー」開催

【6月1日(木) 開催：産学・地域連携推進機構研修室 (WEB配信)】

中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）が主催し、本学が連携して行う知財教育セミナーが開始されました。本セミナーは、全4回を予定しており、6月1日に「知財基礎教育」、29日に「知財実務教育1」が実施されました。講師は、せとうち国際特許事務所の中務弁理士が担当し、講義は特許、実用新案、意匠、商標等の知財全般にわたる初心者向けから、特許管理を行う実務者向けの内容です。これまで実施された本学セミナー（WEB配信）には、延べ8名の受講者がありました。

---

## 鳥取大学サイエンス・アカデミー8月～9月のご案内

### 『芸術・文化の可能性』

音楽や絵画、文学、演劇、舞踊、映画、アニメーションなど芸術・文化には 多様な形態が含まれています。これらは私たちの精神を豊かにし感性や創造性を育むだけではなく、社会を活性化するための手段としても注目されています。今回のシリーズでは公共政策、文学、ダンスといった異なる視点から 芸術・文化を研究する研究者を招いてその可能性を考えます。

第435回 8月26日(土)

「地域とアート—鳥取から見える文化芸術政策の未来—」

地域学部 准教授 竹内 潔

第436回 9月9日(土)

「石原吉郎・香月泰男作品に見る、シベリア抑留体験」

地域学部 准教授 岡村 知子

第437回 9月23日(土)

「ダンスの持つ可能性—イギリスにおけるコミュニティダンスと鳥取で行われている試みについて」

地域学部附属芸術文化センター 講師 木野 彩子

発行日：平成29年8月17日＜第49号＞

連絡先：鳥取大学産学・地域連携推進機構

所在地：〒680-8550 鳥取市湖山町南4-101

ホームページ：<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>

TEL:0857-31-5609 Fax:0857-31-5571

E-mail:ken-somu@ml.adm.tottori-u.ac.jp